

平成28年度
「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」
総 会

日 時：平成29年3月30日(木)13:00～14:30

会 場：愛媛大学城北キャンパス

総合情報メディアセンターメディアホール

主 催：四国地区大学教職員能力開発ネットワーク(SPOD)

平成28年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会次第

日 時：平成29年3月30日（木）13：00～14：30

場 所：愛媛大学城北キャンパス総合情報メディアセンターメディアホール

開 会

会長挨拶 大橋 裕一 学長（愛媛大学）

【議 題】

1. 平成28年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業の総括について 【資料1】
2. 平成28年度事業収支及び会計監査について 【資料2-1, 2-2, 参考資料1】
 - （1）平成28年度事業収支について
 - （2）平成28年度会計監査について
3. 役員の改選について 【資料3-1, 3-2, 3-3, 参考資料2】
4. 平成29年度事業計画について 【資料4】
5. SPODが加盟校以外の教職員から徴収する研修料について 【資料5, 参考資料3】
6. 平成29年度事業予算について 【資料6-1, 6-2, 参考資料4, 5】
7. その他
 - （1）SPOD紹介チラシについて 【資料7】
 - （2）SPODにおけるFDについて 【資料8】
 - （3）SPODにおけるSDについて 【資料9】
 - （4）SPOD事業評価委員会委員について 【資料10, 参考資料6】
 - （5）平成28年度各加盟校のFD／SD活動の取組報告について 【資料11】
8. 意見交換

閉 会

平成28年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会資料一覧

資料1	平成28年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業の総括について	P. 1
資料2-1	平成28年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業収支報告書(案)	P. 19
資料2-2	平成28年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業経費支出内訳(案)	P. 21
資料3-1	「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」監事の選出について(案)	P. 25
資料3-2	「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」の役員の改選について(案)	P. 27
資料3-3	「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員名簿(平成29年4月1日現在)(案)	P. 29
資料4	平成29年度SPOD事業計画(案)	P. 31
資料5	SPODが加盟校以外の教職員から徴収する研修料について(案)	P. 33
資料6-1	平成29年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業予算(案)	P. 35
資料6-2	平成29年度共同事業契約における役割分担等について(案)	P. 39
資料7	SPOD紹介チラシについて	P. 43
資料8	SPODにおけるFDについて	P. 45
資料9	SPODにおけるSDについて	P. 47
資料10	SPOD事業評価委員会委員について	P. 49
資料11	各加盟校におけるFD／SD活動の取組報告	P. 51
参考資料1	「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」会計監査実施要領 ※議題2参考資料	P. 53
参考資料2	「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員名簿(平成28年4月1日現在) ※議題3参考資料	P. 55
参考資料3	SPODが加盟校以外の教職員から徴収する研修料について (平成23年3月29日ネットワーク総会決定) ※議題5参考資料	P. 57
参考資料4	共同事業契約書 ※議題6参考資料	P. 59
参考資料5	四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約 ※議題6参考資料	P. 67
参考資料6	四国地区大学教職員能力開発ネットワーク事業評価委員要項 ※議題7参考資料	P. 71



平成 28 年 度 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」 事業 総 括

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会
2017.3.30

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク
企画・実施統括者 小林 直人
(愛媛大学教育・学生支援機構 教育企画室 室長)

内 容

1. SPOD事業の概要
2. SPODの運営体制
3. 平成28年度事業の総括
 - (1) 事業計画
 - (2) 各事業の取組の成果
 - (3) 事業評価
 - (4) 総括

1. SPOD事業の概要

SPODは、四国地区の高等教育機関が連携してネットワーク事業を展開することにより、域内のFD／SD事業の効率化、高度化、実質化を行うとともに、学生の豊かな学びと成長を支援する実践的力量をもった高等教育のプロフェッショナルを輩出し、教育の質の保証を図ることを目的に平成20年10月に設立。

- ・四国地区の高等教育機関32校が加盟
- ・地域ネットワークとして、FD・SD大学間連携のモデル
- ・平成23年度から自主運営体制により事業を継続
- ・加盟校の教職員延べ1,800名以上(加盟校教職員の約3割)がSPODプログラムに参加

3

2. SPODの運営体制

SPOD役員名簿 ※平成28年4月1日現在

会 長	大 橋 裕 一	愛媛大学長
副 会 長	野 地 澄 晴	徳島大学長
副 会 長	長 尾 省 吾	香川大学長
副 会 長	脇 口 宏	高知大学長
監 事	佃 昌 道	高松大学・高松短期大学長
監 事	橋 本 公 二	愛媛県立医療技術大学長
企画・実施統括者	小 林 直 人	
	愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室	室長

4

加盟校

【愛媛】12校

(大学⑤)
愛媛大学(国), 愛媛県立医療技術大学(公),
聖カトリナ大学(私), 松山大学(私), 松山東雲女子大学(私)
(短期大学⑤)
今治明德短期大学(私), 環太平洋大学短期大学部(私)
松山東雲短期大学(私), 松山短期大学(私),
聖カトリナ大学短期大学部(私)
(高等専門学校②)
新居浜工業高等専門学校(国), 弓削商船高等専門学校(国)

【香川】6校

(大学③)
香川大学(国), 香川県立保健医療大学(公)
高松大学(私)
(短期大学②)
香川短期大学(私), 高松短期大学(私)
(高等専門学校①)
香川高等専門学校(国)

32校(四国地区の高等教育機関が加盟)

大学15, 短期大学12, 高等専門学校5

(平成28年4月現在)

【高知】6校

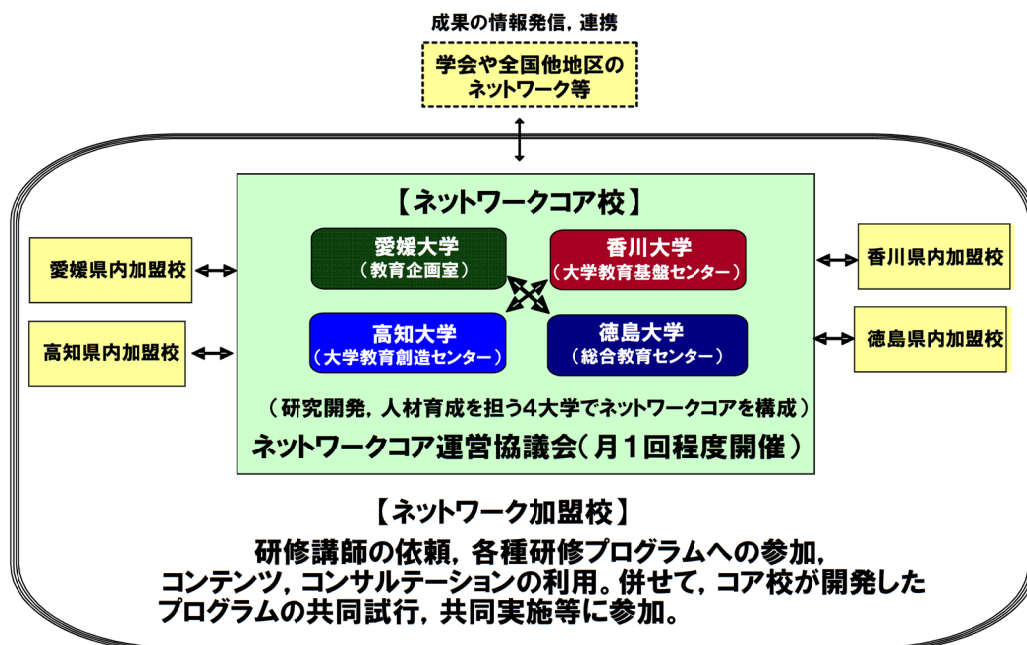
(大学③)
高知大学(国), 高知県立大学(公),
高知工科大学(公)
(短期大学②)
高知短期大学(公)
高知学園短期大学(私)
(高等専門学校①)
高知工業高等専門学校(国)

【徳島】8校

(大学④)
徳島大学(国), 鳴門教育大学(国),
四国大学(私), 徳島文理大学(私)
(短期大学③)
四国大学短期大学部(私), 徳島工業短期大学(私),
徳島文理大学短期大学部(私)
(高等専門学校①)
阿南工業高等専門学校(国)

5

ネットワーク体制

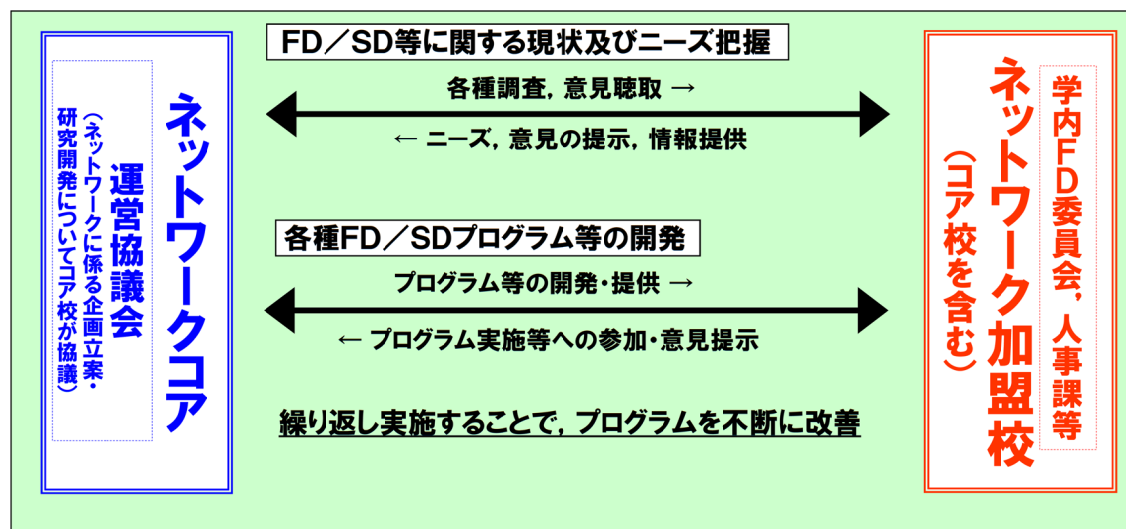


【四国地区大学教職員能力開発ネットワーク】

6

【 連携内容 】

（ネットワークコア，加盟校間での連携）



7

3. 平成28年度事業の総括

(1)事業計画

(計画内容)

1. SPOD共通事業

- ・ SPODフォーラム
- ・ SPOD内講師派遣
- ・ FD／SDに関する調査・研究
- ・ SPOD将来構想 など

2. FD事業

- ・ FD担当者研修
- ・ 新任教員研修
- ・ ティーチング・ポートフォリオ、アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップの実施 など

3. SD事業

- ・ 職員のための講師養成講座、次世代リーダー養成ゼミナールなどの実施
- ・ 大学人・社会人としての基礎力養成プログラムの実施
- ・ 専門職養成プログラム(社会連携、国際連携など)の開発・実施 など

4. SPOD運営

9

(2)各事業の取組の成果

- ①SPODフォーラムの実施
- ②SPOD内講師派遣プログラムの実施
- ③FD／SD調査研究の実施
- ④SPOD将来構想
- ⑤情報提供・広報活動
- ⑥FD担当者研修の開発・実施
- ⑦新任教員研修の開発・実施
- ⑧教育業績記録(ティーチング・ポートフォリオ:TP)の実施
- ⑨SDプログラムの体系的・段階的・継続的实施
- ⑩次世代リーダー養成ゼミナールの実施
- ⑪職員のための講師養成講座の実施
- ⑫SPOD—SDCの認定
- ⑬ネットワークコア運営協議会／県内加盟校会議

10

① SPODフォーラムの実施

- ・スキルアップにつながる実践的なプログラムを集中的に提供
- ・大学等の教職員の能力開発に役立つ多種多様なFD／SDプログラム及び組織を超えた意義ある相互交流・関係づくりの場を提供。

■ SPODフォーラム2016

【日時】平成28年8月24日(水)～26日(金)

【会場】愛媛大学城北キャンパス

【テーマ】「経験を学びに変える」

【参加者】503名(延べ1,469名) ※うちSPOD外: 198名

【プログラム数】38プログラム ※ポスターセッション除く

【アンケート結果】回答者の約99%が「満足」と回答。

※フォーラム終了3週間後にWeb実施



※トップリーダーセミナーを併せて開催

○過去8回のSPODフォーラムで最も高い満足度を得た。

■ SPODフォーラム2017は徳島大学で開催

【全体テーマ】「 "Feeling"と"Thinking"を"Learning"につなげる 」

【日時】H29.8.23～25 【会場】徳島大学常三島キャンパス

■持ち回りにより、SPODフォーラム2018は香川大学で実施予定

11

② SPOD内講師派遣プログラムの実施

加盟校がSPODに加盟するメリットとして、加盟校単位で希望するプログラムを、SPODから研修講師を年1回無料で派遣。
※平成28年度は加盟校内の講師14名を22機関に派遣。

■平成28年度SPOD内講師派遣実績

【派遣機関:22機関、派遣講師:14名、受講者数:613名】

徳島文理大学、高知県立大学では、他キャンパスへの遠隔配信も同時実施

※調査・研究等の結果、教育改善や組織への波及効果が示唆されるため、今後も本事業を実施予定

→プログラムの見直し等を継続的に行う予定



SPOD課題発見コンサルテーション
(平成28年6月9日 松山東雲女子大学・松山東雲短期大学)

【本事業実施による成果】

・FD・SDを効果的に進めるためのプログラム「SPOD課題発見コンサルテーション」を松山東雲女子大学・松山東雲短期大学で実施

→本プログラムでの議論が発端となり、教職協働などをテーマとした学内FD・SDワークショップの開催や、新たなSD委員会規程作成に向けた動きも見られるなど、プログラムの波及効果が見られた(活動報告書P80参照)

12

②SPOD内講師派遣プログラムの実施

プログラム名	日 程	開催大学	受講者数			参加校数			満足度
			対面	遠隔	計	対面	遠隔	%	
講義VTR簡単作成ワークショップとアクティブ・ラーニングへの活用	5月27日(火)	新居浜工業高等専門学校	36	0	36	1	0	96.7	
事例から考えるハラスメント	5月31日(火)	高知学園短期大学	55	0	55	1	0	100	
高専生を元気にする学生指導法のコツ	6月7日(火)	弓削商船高等専門学校	14	0	14	1	0	92.9	
SPOD課題発見コンサルテーション	6月9日(木)	松山東雲女子大学・松山東雲短期大学	16	0	16	1	0	93.3	
学生が輝くFDの実践事例	6月30日(木)	松山大学・松山短期大学	26	0	26	1	0	100	
学生の主体性を促す学習支援	7月5日(火)	香川短期大学	55	0	55	1	0	100	
身近なデータを活用した教育改善	7月15日(金)	徳島工業短期大学	24	0	24	1	0	100	
身近なデータを活用した教育改善	8月2日(火)	阿南工業高等専門学校	16	0	16	1	0	87.5	
後輩の成長を促すコーチング	8月8日(月)	愛媛県立医療技術大学	35	0	35	1	0	86.7	
効果的なeラーニングの活用方法	8月29日(月)	香川県立保健医療大学	35	0	35	2	0	97.1	
今すぐ役立つ授業Tips アクティブ・ラーニングのスタート	9月1日(木)	高知工業高等専門学校	19	0	19	1	0	100	
大学組織を理解する	9月5日(月)	高松大学・高松短期大学	25	0	25	1	0	100	
今すぐ役立つ授業Tips アクティブ・ラーニングのスタート	9月5日(月)	四国大学・四国大学短期大学部	43	0	43	1	0	97	
ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりのポイント	9月8日(木)	徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部	32	22	54	2	1	97.9	
講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン	9月14日(水)	愛媛大学	12	0	12	5	0	100	
学生の主体性を促す学習支援	9月15日(木)	今治明德短期大学	16	0	16	1	0	100	
ディープラーニングに誘うアクティブ・ラーニングの手法～物理、化学の実践例より～	9月20日(火)	聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部	36	0	36	1	0	90.3	
大人数講義を魅力的にするテクニック	9月27日(火)	徳島大学	14	0	14	1	0	100	
学生の主体性を促す学習支援	9月28日(水)	環太平洋大学短期大学部	15	0	15	1	0	100	
ディープラーニングに誘うアクティブ・ラーニングの手法～物理、化学の実践例より～	9月29日(木)	香川大学	16	0	16	1	0	92.9	
大学組織を理解する	10月31日(月)	高知大学	43	0	43	3	0	95	
ティーチング・ポートフォリオ入門～教育実践のリフレクション～	11月24日(木)	高知県立大学・高知短期大学・高知工科大学	6	2	8	1	1	87.5	
合 計			589	24	613	30	2	96.1	

13

③FD／SD調査研究の実施

【本事業の目的】 SPODでの連携効果、組織変容等を調査・検証

(1)FD専門部会

【実施状況】

- ・高知大学が中心となって実施
- ・SPOD内講師派遣プログラムについて、アンケート結果等の分析
→教員の授業改善に加え、講師派遣で得た内容から自大学研修を実施するなど、組織の変容への影響が示唆される。

【成果報告】

- ・SPODフォーラムポスターセッションで発表
- ・平成29年3月開催の京都大学大学教育研究フォーラムで発表



14

③FD／SD調査研究の実施

【本事業の目的】 SPODでの連携効果、組織変容等を調査・検証

(2)SD専門部会

【実施状況】

- ・愛媛大学が中心となって実施
- ・SPODのSD研修(大学人・社会人としての基礎力養成講座)における職員(次世代リーダー養成ゼミナール修了生、講師養成講座受講生等)による講師実践までの育成プロセスや、成果等検証を実施
- 講師自身の更なる能力開発や、受講者の継続的な自己啓発へのつながりが示唆される。

【成果報告】

- ・平成28年9月開催の大学行政管理学会で発表
- ・平成29年3月開催の京都大学大学教育研究フォーラムで発表

15

④SPOD将来構想について

【本事業の目的】 SPODの今後の取組、目的等将来構想に関する事項について検討する。

【検討状況】SPODコア運営協議会等で以下について検討・実施

(1)SPOD取組内容等の再検討【長期的方針3, 中期的方針に対応】

- ・前年度の将来構想の内容を踏まえてチラシを再作成
- ・大学設置基準に定められたSDの定義に対応するため、SPODにおけるFD及びSDの整理を進め、FD及びSDの取組内容を見直し



(2)SPOD加盟校以外教職員の研修料の見直し【長期的方針5に対応】

- ・過去の受講状況等を踏まえ、研修料見直しを検討

(3)FD担当者研修を実施【長期的方針4, 中期的方針F-1に対応】

- ・FD焦点化の一環として実施
- ・各大学におけるFD担当者への支援



(4)SPOD内講師派遣の再検討【中期的方針FS-2に対応】

- ・継続実施のため講師養成を進めるとともにプログラムを見直し
- ・コンサルティングプログラムを実施し、波及効果が見られた

16

④SPOD将来構想について

SPODの将来構想(平成28年3月24日ネットワーク総会決定)

●長期的方針 ※～平成35年度

1. SPODという名称は継続的に使用する
能力開発の地域ネットワークのリーダーとしてプレゼンスを高めていく
2. SPODフォーラムを国内最高の教職員研修の機会にする
既存のFD・SDプログラムをフォーラムに集約する
ポスターセッションなどの相互研修機能を強化する
3. SDの取り組みを発展させる
SD義務化などの政策へ対応する
SDのプログラムおよび教材を開発する
講師派遣事業を行う
4. FDの取り組みは焦点化して取り組む
SPODフォーラムにおいて多様なFDを提供する
各加盟校でのFD担当者の養成を支援する
加盟校で実施するプログラムを公開する
5. 持続可能なSPODの組織体制を構築する
各加盟校のFD, SD戦略に組み込む
長期的にSPODフォーラムの開催校を確定する
安定的な財政基盤を維持する

17

④SPOD将来構想について

SPODの将来構想(平成28年3月24日ネットワーク総会決定)

●中期的方針 ※～平成29年度

FD・SD共通

- FS-1 SPODフォーラムの開催
- FS-2 コンサルティング・講師派遣事業
- FS-3 FD・SDに関する調査研究
- FS-4 情報提供サービス

FD

- F-1 FD担当者の養成
- F-2 新任教員研修の実施、公開
- F-3 ティーチングポートフォリオ研修の実施
- F-4 各加盟校におけるプログラムの公開

SD

- S-1 SDプログラムの体系的・段階的・継続的实施
- S-2 次世代リーダー養成プログラムの実施
- S-3 SD講師養成によるSPOD-SDの継続的な実施
- S-4 SPOD-SDCの輩出

S-1 SDプログラムの体系的・段階的・継続的实施

- (a) 大学人・社会人としての基礎力養成プログラムの実施
職務遂行力(テクニカルスキル), 人間力(ヒューマンスキル), 管理・運営力(マネジメントスキル), 等を養成するプログラム
- (b) 職務別能力養成プログラムの実施
学務系職員, 社会連携系職員, 国際連携系職員等に
必要な能力を養成するプログラム

S-2 次世代リーダー養成プログラムの実施

次代のトップリーダーとして大学等の経営を担うために必要な「理論」「技能」「態度」を段階的に学び・修得する140時間を超える総合研修プログラム

S-3 SD講師養成によるSPOD-SDの継続的な実施

自律(立)的運営を目指し, SPOD-SDプログラムにより知識・技能・態度を身につけた職員自らが, 次のSPOD-SDプログラムの講師となるサイクルの確立

S-4 SPOD-SDCの輩出

自大学のSD活動を振り返り, 強みと課題を理解したうえで, 新しい情報や他者からの助言を参考に課題の解決策を見出せるSDの実践的指導者(SDコーディネーター/SDC)の養成

18

⑤情報提供・広報活動

(1)研修プログラムガイド2016の発行

SPOD加盟校内で実施されるプログラムを掲載した冊子を作成し加盟校内教職員7,300名に配付し、情報共有・参加を促す。同内容をホームページにも掲載。



(2)平成28年度活動報告書の発行

SPOD加盟校内で実施したプログラムの実施内容・効果、各加盟校のFD/SD活動を掲載した冊子を作成し各加盟校に配付。事業評価委員会の資料としても活用。同内容をホームページにも掲載。



(3)SPODホームページ

SPODフォーラム、SPOD加盟校内の実施プログラム及び活動報告について掲載。

■SPODホームページカウンタ機能

利用状況を把握するため、SPODホームページにカウンタ機能を追加(平成25年度から)
トップページ閲覧数:58,593件 PDF資料等ダウンロード数:8,288件 ※H28.4.1~H29.3.26現在
参考:平成26年度 トップページ閲覧数:71,082件、PDF資料等ダウンロード数:9,150件

(4)SPODメールマガジンの発行

SPODフォーラム、SPOD加盟校内の実施プログラムやSPOD加盟校、高等教育に関する情報を提供。メルマガ登録者約280名に対し、月1回程度(今年度は7回)配信。

19

⑤情報提供・広報活動

SPODの成果は、全国的にも注目されており、大学行政管理学会や大学教育研究フォーラムなどの各種学会等をはじめ、全国会議や広報誌でもSPODの取組を紹介するなど、広く情報提供・発信を行っている。

(5)各種学会等での事例発表実績

- 第20回大学行政管理学会研究集会において事例発表(日時:平成28年9月11日, 場所:慶應義塾大学)
 - ・タイトル:「大学間連携SD研修における職員による講師実践とその成果検証～SPOD-SD新任職員研修の事例から～」
 - ・発表者:丸山智子, 吉田一恵(愛媛大学)
- SPODフォーラムポスターセッションで発表(日時:平成28年8月23日, 場所:愛媛大学)
 - ・タイトル:SPODが及ぼす組織変容の研究～SPOD内講師派遣事業の効果検証分析～
 - ・発表者:塩崎俊彦・杉田郁代・俣野秀典(高知大学)
- 第23回大学教育研究フォーラムで発表(日時:平成29年3月20日, 場所:京都大学)
 - ・タイトル:FD・SDを促進する大学間連携ネットワークの役割～SPOD事業の効果検証を事例として～
 - ・発表者:塩崎俊彦・俣野秀典(高知大学), 中井俊樹(愛媛大学), 藤巻晃(徳島文理大学)ほか

(6)その他取組の紹介事例

- 中央教育審議会大学分科会大学教育部会「大学の事務職員等の在り方について」(平成28年12月27日)

・参考資料として、SPODのSDプログラムやフォーラムが取り上げられた。

■教育学術新聞記事掲載

- ・大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(新任職員研修)(平成28年5月11日付)
- ・次世代リーダー養成ゼミナール(平成28年7月27日付)
- ・SPODフォーラム2016(平成28年9月28日付)

■サンデー毎日「大学プレスセンターニュースダイジェストVol96」(平成28年5月8日)

- ・SPODのFD/SDの取組が紹介された。



20

⑥FD担当者研修の実施

目的:各加盟校のFD担当者としてFDを企画・運営・評価するため
に必要となる基礎的な知識と技能の習得

実績:愛媛大学主催で1回開催(6機関から11名参加)

日時:平成28年8月23日(火)

会場:愛媛大学愛大ミューズ アクティブ・ラーニングスペース2

事後アンケート:参加者全員から「満足」(11名中10名は「大変満足」)

●受講者は、FD担当者に求められる能力と役割やFDを企画・運営・評価するための手順を学んだ。

●受講者からは、「FD研修会を行うにあたって、必要な知識を知る事ができた。」「FDをどうしたら多くの教員に感心を持ってもらえるのかが分かった。」「他大学の方との交流ができ、他大学の事例が知れた」などの意見があった。

※次年度は徳島大学(SPODフォーラム)内で開催予定。



21

⑦新任教員研修の開発・実施

■新任教員研修

目的:授業の構想・設計・実施・評価に関わる一連の過程をグループワーク形式で体験し、授業実践のために必要な能力を身につける

実績:ネットワークコア校(愛媛大学, 徳島大学, 香川大学, 高知大学)

主催で計5回開催し、加盟校21校(延べ)から73名が参加。

事後アンケート:参加者の97%から「満足」という回答。

プログラム名	日 程	開催大学	受講者数			参加校数			満足度
			対面	遠隔	計	対面	遠隔	%	
授業設計ワークショップ	6月18日(土)~19日(日)	徳島大学	15	0	15	2	0	86.7	
授業デザインワークショップ(第26回)	7月2日(土)~3日(日)	愛媛大学	17	0	17	5	0	100	
授業デザインワークショップ(第27回)	8月31日(水)~9月2日(金)	愛媛大学	20	0	20	7	0	100	
学生の学びを支援する授業準備ワークショップ	8月30日(火)~31日(水)	高知大学	9	0	9	3	0	100	
新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」	9月15日(木)~16日(金)	香川大学	12	0	12	4	0	100	
合 計			73	0	73	21	0	97.3	

●受講者は、ネットワークコア校内で標準化されたプログラムを受講し、授業設計、シラバスの作成方法についてグループワーク形式で学び、プログラム最終日には模擬授業を行った。

●受講者からは、「授業方法に着目した本ワークショップは、特に授業経験が浅い教員にとってとても有意義な内容だった」「グループワークの手法を学ぶことができたので、後期のゼミなどの少人数の授業で早速実践したいと考えている」等の意見があった。



22

⑧教育業績記録(ティーチング・ポートフォリオ:TP)の実施

■ TP作成ワークショップ

ティーチングポートフォリオの作成及びメンターの養成を目的に3回実施(6機関から21名参加)

①教員対象

【日時】平成28年7月9日(土)～10日(日)

【会場・受講者数】愛媛大学, 13名

②高等専門学校教員対象

【日時】平成28年9月23日(金)～25日(日)

【会場・受講者数】愛媛大学, 6名

③教員対象

【日時】平成29年3月8日(水)～10日(金)

【会場・受講者数】徳島大学, 2名

※上記のほか、7月8日愛媛大学でTP更新ワークショップ(2名)、9月23～25日愛媛大学で

アカデミック・ポートフォリオ(AP)作成ワークショップ(2名)を開催



●受講者からの声

- ・教育について、これまで頭の中ではぼんやりと考えていたものが、文字として書き起こしたことで、非常に明確になったように感じた。
- ・あまり非常勤の経験もないまま大学教員になる人たちにとって、このような作業を「教育」の最初の段階で行ってもらえることは、非常に有益になると思う。

23

⑨SDプログラムの体系的・段階的・継続的实施

■大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルⅠ～Ⅲ, 共通)(受講者165名)

プログラム名	日 程	開催大学	受講者数			参加校数		満足度
			対面	遠隔	計	対面	遠隔	
大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ)第1回【新任職員研修】	5月9日(月)～11日(水)	高知大学	63	0	63	11	0	98.4
大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ)第2回	11月17日(木)～18日(金)	愛媛大学	30	0	30	10	0	100
大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅡ)	10月6日(木)～7日(金)	愛媛大学	25	0	25	3	0	96
大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅢ)	9月28日(水)～29日(木)	愛媛大学	20	0	20	10	0	100
大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(共通科目)	9月7日(水)～8日(木)	愛媛大学	27	0	27	7	0	100
合 計			165	0	165	46	0	98.9



目的: 高等教育機関の職員として一般的に求められている広範な素養を習得する

実績: 愛媛大学, 高知大学においてレベル別の研修を計5回開催し, 加盟校

46校(延べ)から165名が参加。

事後アンケート: 参加者の99%から「満足」という回答。

※次世代リーダーゼミナール修了生や講師養成研修受講者が「講師」をつとめている。

■トップリーパーゼミナー「大学ガバナンスとリーダーシップ」(受講者87名、SPODフォーラム)

■社会連携系職員養成プログラム レベルⅠ「地域特性論」(受講者25名、SPODフォーラム)

■国際連携系職員養成プログラム レベルⅠ「海外派遣入門」(受講者56名、SPODフォーラム)

■スタッフ・ポートフォリオ作成ワークショップ(受講者11名、愛媛大学・教職員能力開発拠点主催)

■管理監督者のためのメンタルヘルス研修会(受講者数43名、愛媛大学)

24

⑩次世代リーダー養成ゼミナールの実施

実績:計12名で4回(2年間で8回)のプログラムを実施

受講者:6期生5名, 7期生7名

内容:高等教育に関する第一人者の講義を受け, 多数の課題をクリアしながら, 次世代のリーダーとして, 大学等の運営を担うために必要な技能, 知識, 態度を身につけることを目指した。最終回には受講者に修了プロジェクト発表, リポートの提出, 及び口頭試問を課し, 修了判定を実施。

※第6期生5名が修了→今年度を含め, 48名の修了生

※修了生のうち, 12名がフォーラムや大学人・社会人としての基礎力養成講座等で講師をつとめた。

- ①第1回 H28. 5. 26~28 【会場】愛媛大学
【講師】山本真一(桜美林大学)、船戸高樹(山梨学院大学)ほか
- ②第2回 H28. 7. 21~23 【会場】香川大学
【講師】池田輝政(追手門学院大学)ほか
- ③第3回 H28. 10. 27~29 【会場】徳島大学
【講師】各務正(梅光学院大学)ほか
- ④第4回 H29. 1. 19~20 【会場】高知大学
【講師】中井俊樹、清水栄子、丸山智子、吉田一恵(愛媛大学)ほか



25

⑩次世代リーダー養成ゼミナールの実施

■ 次世代リーダー養成ゼミナール修了プロジェクト

・多様化する大学等において直面する課題に対し, 自大学のミッションを踏まえ, 講義や実践・演習で培った知識(理論)・スキル・態度を活用し, 「大学の構成員を巻き込むイノベーション」を企画・立案・実施・報告

・修了プロジェクト名(6期生)

現役職員と再雇用職員の早期マッチング向上策について —Win-Win Project: ここに, 働きたい場所がある。。。ここに, いてほしい人がいる。。。—	愛媛大学医学部学務課 中塚俊郎
研究支援業務の改善に向けた取組 —香川大学の事例を通して—	香川大学工学部 塩田英孝
学生生活でおこりやすいアクシデント予防プロジェクト	徳島大学総務部人事課 大森理佐
超過勤務削減に有効な取組みの検証	高知大学総務部人事課 下元浩二
松山大学SD強化プロジェクト —SD委員会設置の提案に向けての取組—	松山大学経営企画部経営企画課 中村詩乃



26

⑪職員のための講師養成講座の実施

- 【目的】研修プログラムの講師ができる職員の育成
【成果】過去の受講者は実際に、「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルⅠ)」等の講師を務めた。
【会場】愛媛大学

職員のための講師養成講座「総論」

【日時】平成28年6月16日(木)～17日(金)

【参加者】9名

※次年度以降、プログラムを見直し、新任教員研修(愛媛大学)のプログラム一部受講も検討

●受講者からのコメント

- ・研修の進め方の手順を学べた。
- ・基本をじっくり学んだり、体験する機会がないため、Off-JT の特にいいところだが、大枠や基本的な型を学べたのがとても良かった。
- ・講師をする以外でも、日常業務に活かすことができる知識を習得できた。



27

⑫SPOD－SDCの認定(SDの実践的指導者)

**平成28年度、新規に4名の教職員を認定
SPOD－SDCとして初めて、私立大学職員を認定**

【認定審査対象者】4名

中井 俊樹（愛媛大学 教育・学生支援機構教育企画室 教授）
織田 隆司（愛媛大学 教育学生支援部教育企画課 副課長）
石原 卓也（香川大学経営管理室経営企画グループ チーフ）
藤巻 晃（徳島文理大学 総務部庶務・渉外グループ 事務主任）

- ・今年度を含め、これまでに17名のSPOD－SDCを認定
- ・SPOD－SDC認定者は、学内外の研修の講師を務めるなどSD事業の推進に寄与している。
- ・次年度以降引き続き各加盟校からのSPOD－SDC輩出を目指す。

SPOD－スタッフ・ディベロップメント・コーディネーターの資格認定基準

1. SPOD－SD(又は自大学におけるSD)講師を務めることができる。
2. 職員のキャリアプランニングをサポートすることができる。
3. 大学等における職員人材育成ビジョンの構築方法について説明することができる。
4. 大学等におけるSDプログラムの企画・立案ができる。
5. スタッフ・ポートフォリオの有益性を説明することができる。



28

⑬ネットワークコア運営協議会／県内加盟校会議

- ・ネットワークコア校が月1回程度、事業の実施、運営上の諸課題等について協議。
- ・ネットワークコア校は、ネットワークコア運営協議会の報告や各県内の加盟校のニーズ聴取を目的とした県内加盟校会議を開催。

【平成28年度開催実績】

■ ネットワークコア運営協議会：8回開催

6回：遠隔講義システム

2回：愛媛大学開催

■ 県内加盟校会議

徳島県内加盟校会議1回



29

(3)事業評価

■SPOD事業評価委員会

外部有識者3名の委員が、SPODが作成した活動報告書をもとに事業評価。その評価結果をもとに事業を改善。

【開催日】平成29年2月6日(月)

【開催場所】愛媛大学 愛大ミューズ3階会議室

【委員会委員(平成28年度)】

福島 一政 追手門学院大学 副学長

田中 岳 東京工業大学教育革新センター 教授

桂 良彦 大学コンソーシアム京都 事務局長

(敬称略)



(2) 評価結果

項目	評価結果
1. 事業の目的・意義	明確である
2. 事業の実施状況	計画通りである
3. 事業の成果	期待通りである
4. 事業の改善点	ある

30

【平成28年度SPOD事業評価委員からのコメント】

1. 全体的な本事業へのコメント

- ・事業評価委員の指摘事項等を踏まえ、毎年度事業を改善しながら実施できている。
- ・SPODの取組は時間をかけてひとつの文化となりつつあり、これからの高等教育のあり方を考える際に参考となる取組を行っている。

2. 指摘事項・今後の提案事項

- ・加盟校の規模別・領域別等で各加盟校の参加状況や取組内容等の調査を検討してはどうか。
- ・愛媛大学以外のSPOD－SDCを引き続き輩出することで、各加盟校のSD事業の発展につながるのではないかな。

31

(4) 総括

計画どおり順調に進展

(課題)

- ・各加盟校のFD／SD活動支援について
- ・各加盟校との連携について
- ・大学規模別の取組状況等調査・研究について など

※加盟校担当者にも協力をお願いし、議論を進める予定ですので
よろしくお願いします。

32

加盟校の連携により、様々な成果を上げることができました。

御礼申し上げます。

平成29年度も引き続き、SPOD事業に対して、ご協力をよろしくお願いいたします。



「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」における監事の選出について（案）

平成29年度の「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」（以下「SPOD」という。）の運営にあたって、SPOD規約に基づき、会長等の役員の選出を行う。監事については、「コア校以外の加盟校」から2名（任期2年）を選出することとしているため、以下の選出方法により実施する。

（1）選出基準（平成27年3月27日開催ネットワーク総会承認）

以下①と②を組み合わせで選出する。

- ①設置形態のバランスを考慮し、コア校を除く国立又は公立（A）、私立（B）、高専（C）から2名を選出する。4年間でA～C全ての設置形態から選出されるようにする。
- ②地域バランスを配慮し、2名を選出する。4年間で全ての県から選出されるようにする。

（2）監事の選出方法（平成27年3月27日開催ネットワーク総会承認）

ネットワークコア運営協議会で検討し、推薦する。

（ネットワークコア運営協議会での審議結果）

監事推薦について

平成29年1月27日（金）開催のネットワークコア運営協議会において検討を行った。4期目（平成29年度～30年度）の監事については、選出基準①より、私立及び高専、②より徳島県及び高知県から選出することとなった。第3期までの状況を考慮し、徳島文理大学長（徳島県・私立・四年制と短大が併設）及び高知工業高等専門学校長（高知県・高専）を推薦することとなった。なお、次期監事については、平成29年3月30日（木）開催予定の平成28年度ネットワーク総会の議を経て決定することを確認した。

- ※1期目 松山東雲女子大学長（愛媛県・私立・4年制と短大が併設）、香川高等専門学校長（香川県・高専）
- 2期目 鳴門教育大学長（徳島県・国立）、高知県立大学長（高知県・公立）
- 3期目 高松大学長（香川県・私立・4年制と短大が併設）、愛媛県立医療技術大学長（愛媛県・公立）

【参考】

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」における監事の選出について（抄）（平成27年3月27日開催ネットワーク総会承認）

（1）選出基準

以下①と②を組み合わせで選出する。

- ①設置形態のバランスを考慮し、コア校を除く国立又は公立（A）、私立（B）、高専（C）から2名を選出する。4年間でA～C全ての設置形態から選出されるようにする。
- ②地域バランスを配慮し、2名を選出する。4年間で全ての県から選出されるようにする。

（2）監事の選出方法（平成27年3月27日開催ネットワーク総会承認）

ネットワークコア運営協議会で検討し、推薦する。

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」規約（抄）

（会長、副会長、監事及び企画・実施統括者）

第8条 SPODに、会長（1名）、副会長（3名）、監事（2名）及び企画・実施統括者（1名）を置く。

- 2 会長及び企画・実施統括者は、代表校から選出する。
- 3 副会長は、代表校を除くコア校から選出する。
- 4 監事は、コア校を除く加盟校から選出する。
- 5 会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 6 会長は、SPODを代表する。
- 7 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。
- 8 監事は、会計を監査する。
- 9 企画・実施統括者は、SPOD活動に係る企画及び実施を統括する。
- 10 補欠による会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、前任者の残任期間とする。

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」の役員の改選について（案）

平成 29 年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業の実施にあたって、「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」規約（以下「規約」という。）第 8 条第 5 項に基づく、平成 28 年度末での役員の任期満了に伴い、以下 1～5 の改選を行う。なお、コア校は、規約別表 2 のとおり、徳島大学、香川大学、愛媛大学、高知大学を指している。

- 1. 代表校／事務局（規約第 7 条及び第 12 条関係）
愛媛大学
- 2. 会長（規約第 8 条第 1 項、第 2 項、第 5 項及び第 6 項関係）
愛媛大学長
- 3. 副会長（規約第 8 条第 1 項、第 3 項、第 5 項及び第 7 項関係）
徳島大学長、香川大学長、高知大学長
- 4. 監事（規約第 8 条第 1 項、第 4 項、第 5 項及び第 8 項関係）
徳島文理大学長及び高知工業高等専門学校長
- 5. 企画・実施統括者（規約第 8 条第 1 項、第 2 項、第 5 項及び第 6 項関係）
愛媛大学学長特別補佐 教育・学生支援機構教育企画室長

【参考】四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約（抄）

（コア校）

第 5 条 加盟校のうち、別表第 2 に定める大学をコア校とする。

（代表校）

第 7 条 コア校のうち、1 校を SPOD の代表校とする。

2 代表校は、コア校の互選により選出する。

3 代表校の任期は 2 年とし、再任を妨げない。

（会長、副会長、監事及び企画・実施統括者）

第 8 条 SPOD に、会長（1 名）、副会長（3 名）、監事（2 名）及び企画・実施統括者（1 名）を置く。

2 会長及び企画・実施統括者は、代表校から選出する。

3 副会長は、代表校を除くコア校から選出する。

4 監事は、コア校を除く加盟校から選出する。

5 会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。

6 会長は、SPOD を代表する。

7 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

8 監事は、会計を監査する。

9 企画・実施統括者は、SPOD 活動に係る企画及び実施を統括する。

10 補欠による会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、前任者の残任期間とする。

（事務局）

第 12 条 SPOD の事務局は、代表校に置き、加盟校の協力を得て運営にあたる。

別表第 2 コア校

徳島大学
香川大学
愛媛大学
高知大学

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員名簿（案）

任期：平成 29 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

（平成 29 年 4 月 1 日現在）

会 長	大 橋 裕 一	愛媛大学長
副 会 長	野 地 澄 晴	徳島大学長
副 会 長	長 尾 省 吾	香川大学長
副 会 長	脇 口 宏	高知大学長
監 事	桐 野 豊	徳島文理大学・ 徳島文理短期大学部学長
監 事	濱 中 俊 一	高知工業高等専門学校長
企画・実施統括者	小 林 直 人	愛媛大学学長特別補佐 教育・学生支援機構 教育企画室長

平成29年度SPOD事業計画（案）

1. SPOD共通事業

・SPODフォーラム

平成29年8月23日（水）～25日（金）（3日間）

開催場所：徳島大学

「全体テーマ：“Feeling”と“Thinking”を“Learning”につなげる」

トップリーダーセミナーを併せて開催

- ・SPOD内講師派遣（加盟校単位 各1回 計24回） 開催場所：各加盟校
原則として、1法人あたり1回とする。ただし、高等専門学校については、1校あたり1回とする。
- ・FD・SDに関する調査研究
- ・SPOD将来構想ワーキンググループ
- ・情報提供サービス
 - ①研修プログラムガイド2017の発行（年1回、冊子及びホームページ掲載）
 - ②平成29年度SPOD活動報告書の発行（年1回、冊子及びホームページ掲載）
 - ③SPODホームページの管理・更新
 - ④SPODメールマガジンの発行（月1回程度）
- ・その他コア運営協議会で承認された事業、プログラム等

2. FD事業

- ・FD担当者研修 開催場所：徳島大学
SPODフォーラム2017において開催
- ・新任教員研修（年5回）の実施・公開 開催場所：各コア校（愛媛大学は2回実施）
- ・ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ（年2回）の公開・実施
 - ①全加盟校教員対象（年1回）
開催場所：徳島大学
 - ②高専対象（年1回） 開催場所：愛媛大学
開催場所：愛媛大学
- ・各種FDプログラムの開発・実施 開催場所：各加盟校
研修プログラムガイド2017に掲載したプログラム

3. SD事業

- ・大学人・社会人としての基礎力養成プログラム（年4回）
開催場所：愛媛大学
レベルⅠ（新任職員研修） 1回（愛媛大学）
レベルⅠ 1回（愛媛大学）
レベルⅡ 1回（愛媛大学）
レベルⅢ 1回（愛媛大学）
主担当：SPOD事務局 協力校：愛媛大学
- ・国際連携系職員養成研修（年1回）
- ・社会連携系職員養成研修（年1回）
- ・学務系職員養成研修（年1回）
SPODフォーラム2017において開催
主担当：SPOD事務局 協力校：徳島大学
- ・次世代リーダー養成ゼミナール（年4回）
開催場所：愛媛県，香川県，高知県
主担当：SPOD事務局 協力校：各コア校
- ・職員のための講師養成講座（年1回）開催場所：愛媛大学
新任教員研修（愛媛大学）プログラムの一部受講等により実施予定
主担当：SPOD事務局 協力校：愛媛大学
- ・各種SDプログラムの開発・実施 開催場所：各加盟校
研修プログラムガイド2017に掲載したプログラム

4. SPOD運営

- ①総会（年1回）
- ②ネットワークコア運営協議会（月1回程度）
- ③事業評価委員会（年1回）
- ④監査（年1回）
- ⑤その他
 - i. FD／SD分科会
 - ・FD分科会（年1回） 総会と同日開催
 - ・SD分科会（年1回） 総会と同日開催
 - ii. SPOD加盟校県内会議 四国各県において必要に応じて実施

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

(ネットワーク略称 **SPOD**=Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education)

学生の豊かな学びと成長を支援する、実践的力量をもった
高等教育のプロフェッショナルの輩出

愛媛…12校

大学 ⑤

- ・愛媛大学(国)
- ・愛媛県立医療技術大学(公)
- ・聖カタリナ大学(私)
- ・松山大学(私)
- ・松山東雲女子大学(私)

短期大学 ⑤

- ・今治明德短期大学(私)
- ・環太平洋大学短期大学部(私)
- ・聖カタリナ大学短期大学部(私)
- ・松山東雲短期大学(私)
- ・松山短期大学(私)

高等専門学校 ②

- ・新居浜工業高等専門学校(国)
- ・弓削商船高等専門学校(国)

香川…6校

大学 ③

- ・香川大学(国)
- ・香川県立保健医療大学(公)
- ・高松大学(私)

短期大学 ②

- ・香川短期大学(私)
- ・高松短期大学(私)

高等専門学校 ①

- ・香川高等専門学校(国)

高知…6校

大学 ③

- ・高知大学(国)
- ・高知県立大学(公)
- ・高知工科大学(公)

短期大学 ②

- ・高知短期大学(公)
- ・高知学園短期大学(私)

高等専門学校 ①

- ・高知工業高等専門学校(国)

徳島…8校

大学 ④

- ・徳島大学(国)
- ・鳴門教育大学(国)
- ・四国大学(私)
- ・徳島文理大学(私)

短期大学 ③

- ・四国大学短期大学部(私)
- ・徳島工業短期大学(私)
- ・徳島文理大学短期大学部(私)

高等専門学校 ①

- ・阿南工業高等専門学校(国)

ネットワーク加盟校の構成

四国地区の高等教育機関が加盟
ネットワーク参加校総数 32校
(大学15、短期大学12、高等専門学校5)

SPODの概要

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」(SPOD)は、四国地区の32の国公立大学・短期大学・高等専門学校によって構成される教職員能力開発の大学間ネットワークです。平成20年度に文部科学省戦略的大学連携支援事業の採択を機に設立されました。本事業は平成22年度で補助金交付が終了しましたが、平成23年度から各加盟校の分担金による自主運営体制のもと、取組が継続されています。

SPODは、ネットワークの活動を通じて、学生の豊かな学びと成長を支援する実践的力量をもった高等教育のプロフェッショナルを輩出することを目指しています。4県に位置するネットワークコア校を中心に、加盟校が協力・連携して、教職員の能力開発(FD・SD)のプログラムやサービスを提供しています。

取組内容

FD・SD共通

- 1 SPODフォーラムの開催
- 2 コンサルティング・講師派遣事業
- 3 FD・SDに関する調査研究
- 4 情報提供サービス

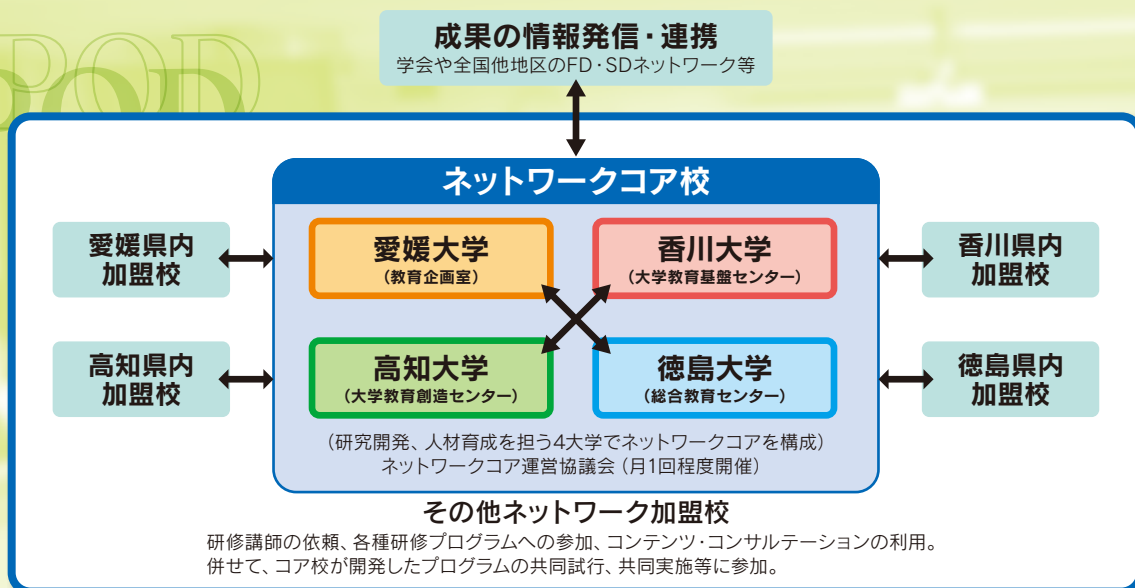
FD

- 1 FD担当者の養成
- 2 新任教員研修の実施、公開
- 3 ティーチング・ポートフォリオ研修の実施
- 4 各加盟校におけるプログラムの公開

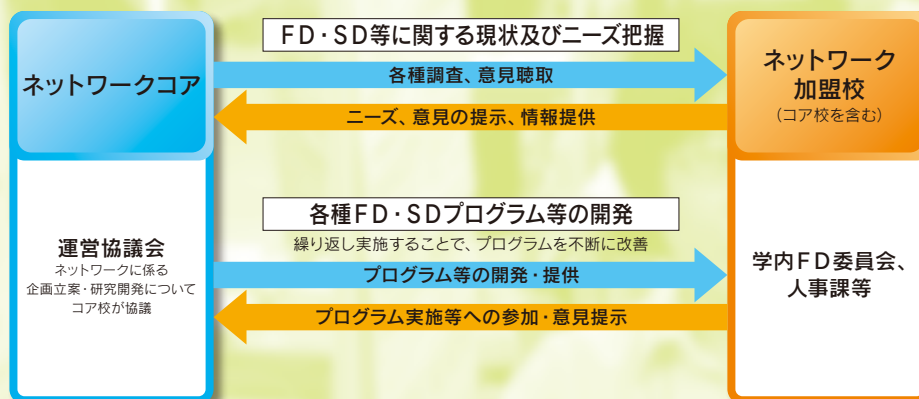
SD

- 1 SDプログラムの体系的・段階的・継続的实施
- 2 次世代リーダー養成プログラムの実施
- 3 講師養成によるSDの継続的な実施
- 4 SPOD-SDCの輩出

ネットワーク運営体制



① ネットワークコア、加盟校間での連携



② 加盟校相互での連携

研修講師派遣、先進事例実地調査、遠隔会議システム等を活用した情報交換 等

実績・成果

■集中日程によるFD・SD研修を行うSPODフォーラムの実施

フォーラム 2009 (参加者延べ約 980 名)、2010 (参加者延べ約 1,000 名)、2011 (参加者延べ約 1,300 名)、2012 (参加者延べ約 1,400 名)、2013 (参加者延べ約 1,540 名)、2014 (参加者延べ約 1,300 名)、2015 (参加者延べ約 1,500 名)、2016 (参加者延べ約 1,470 名) を開催。フォーラム 2016 では参加者の 99% から有意義又は満足との高い評価を得ている。

■多種多様な研修プログラムの実施

加盟校が参加可能な FD・SD プログラムを網羅的に掲載した統一ガイドブック「研修プログラムガイド」を作成・配付することにより、平成 27 年度は延べ 2,500 名以上の教職員が参加した。

■FD プログラムの標準化

ネットワークコア校において、ほぼ共通の目標、内容、日程での新任教員研修を実施している。どのコア校の研修に参加しても同様の効果を得ることができる。

■教職員によるSDプログラムの開発・実施

教職員が、大学、短期大学、高等専門学校などのニーズを取り入れた SD マップを教職協働で完成させ、マップに基づき開発した研修プログラムを実施している。SD 研修プログラムを担当できる職員（講師養成）を育成するための研修も実施し、SPOD で講師を務めている。



- 小規模校が単独で開催することが難しい研修を実施
- FD・SDに関する最新の話題、課題、考え方などの情報の共有が可能

SPODにおけるFDについて

(1) SPODにおけるFDとは

SPODにおけるFDは、教育・学習効果を最大限に高めることを目指した、1) 授業改善、2) カリキュラム改善、3) 組織整備・改革 への組織的な取組の総称です。

大学設置基準では、「大学は、当該大学の授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。」と定められています。SPODにおけるFDは、この条文の定義よりFDを広く捉えて、研修の機会を大学間で連携して提供しています。

1) 授業改善 (Instructional Development)

個々の授業をより良いものにするための取組です。具体的には、授業評価アンケート、教員相互の授業参観、授業コンサルテーション、教授法に関する講演会、シンポジウム、ワークショップ、セミナーなどがこれにあたります。

〈SPODでの取組例〉

- ・新任教員研修
- ・各種スキルアップ系研修
- ・各種公開セミナー
- ・ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ

〈各大学での取組例〉

- ・教員相互の授業参観、授業講評会
- ・学生による授業評価アンケート
- ・各種セミナー
- ・学生との意見交換会

2) カリキュラム改善 (Curriculum Development)

学部、学科、課程、コース等において提供されるカリキュラムや教育プログラムをより良いものにするための取組です。具体的には、カリキュラム・ポリシーの制定、授業科目の新設・改廃、授業科目間の関連性の検討、カリキュラムの現状診断・評価・開発、またこれらに関わるセミナーなどがこれにあたります。

〈SPODでの取組例〉

- ・FD担当者研修
- ・カリキュラム改善に関するセミナー

〈各大学での取組例〉

- ・カリキュラム・ポリシー制定に関する学内FD研修会
- ・カリキュラム・ポリシーに対応した各授業科目の授業内容の検討
- ・カリキュラム・マップの作成 ・副専攻制導入の検討

3) 組織の整備・改革 (Organizational Development)

教育・学生支援に関わる組織の構造や組織間の関係をより機能的なものにするための取組です。具体的には、教育・学生支援に関わる委員会の設置・改廃、各委員会の役割の検討、組織の現状診断・評価・再編、組織間での連携協力、管理職等を対象とした各種研修会がこれにあたります。

〈SPODでの取組例〉

- ・FD担当者研修
- ・講師派遣事業によるコンサルティング

〈各大学での取組例〉

- ・SPODに関するFD実施体制の構築
- ・FD委員会等組織の見直し
- ・学科・コースの再編及びそれに伴う教員の再配置
- ・教育重点型教員の配置

1), 2) においては、組織レベルのみならず教員個人レベルにおける取組も重要です。そして、1), 2), 3) いずれにおいても、常にPDCAサイクルを意識して、持続的に改善を図る姿勢が肝要であると考えます。

【SPOD-FDプログラムのレベルについて】

国立教育政策研究所が開発したFDマップを利用して、本ガイドブックに掲載されているSPOD-FDプログラムのレベル分類をおこなっています。FDマップとは、FDプログラムを体系的に整理できる枠組です（図参照）。FDマップでは、横軸にFDプログラムを実施する対象を示し、「ミクロ・レベル（授業・教授法の開発）」「ミドル・レベル（カリキュラム・プログラム開発）」「マクロ・レベル（組織の教育環境・教育制度の開発）」に分類しています。そして縦軸にFDを実施する対象者の能力開発の段階を示し、「Ⅰ．導入（気づく・わかる）」「Ⅱ．基本（実践できる）」「Ⅲ．応用（開発・報告できる）」「Ⅳ．支援（教えられる）」と4つのフェーズに分かれています。

各プログラムのレベルとフェーズについては、研修プログラムガイドをご参照ください。

レベル フェーズ	ミクロ 個々の教員 授業・教授法	ミドル 教務委員 カリキュラム・プログラム	マクロ 管理者 組織の教育環境・教育制度
Ⅰ．導入 (気づく・わかる)			
Ⅱ．基本 (実践できる)			
Ⅲ．応用 (開発・報告できる)			
Ⅳ．支援 (教えられる)			

図．FDマップのフレームワーク

参考・引用文献
国立教育政策研究所 FDeR研究会「大学・短大でFDに携わる人のためのFDマップと利用ガイドライン」国立教育政策研究所, 2009

(2) FDプログラムの内容

FDプログラムは主に、1) FD担当者の養成、2) 新任教員研修、3) ティーチング・ポートフォリオに関する研修、4) その他各種研修で構成されています。

1) FD担当者の養成

以下の研修等を実施し、各加盟校において、より主体的なFD活動を行うことのできるFD担当者の養成を行います。

- ・FD担当者研修

2) 新任教員研修

教員としてのキャリアパスの早期において基礎的な内容を学習できる新任教員等向けの研修を実施・公開します。このプログラムは、どのコア校が主催する新任教員研修を受講しても同様の効果が得られるよう、標準化されています。

- ・授業設計ワークショップ
- ・よりよい授業のためのFDワークショップ
- ・授業デザインワークショップ
- ・学生の学びを支援する授業準備ワークショップ

3) ティーチング・ポートフォリオ研修

各自の教育活動を振り返り、自身の教育理念、課題などを整理し教育力向上、意識改革の一助となる「ティーチング・ポートフォリオ」（教育業績記録）作成に関するワークショップを実施・公開します。

- ・ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ、更新ワークショップ
- ・アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ

4) その他各種研修

各加盟校で実施するプログラムを相互に公開し、参加を促進します。

- ・アクティブ・ラーニングに関するプログラム
- ・学生の学びの支援に関するプログラム
- ・ICTに関するプログラム
- ・教学IRに関するプログラム
- ・学習評価に関するプログラム

SPODにおけるSDについて

(1) SPOD における SD とは

SPOD における SD は、四国内の大学、短期大学、高等専門学校（以下、大学等という）の職員が組織的に共同開発した職員養成プログラムを実施し、大学等のジェネラリストとしての広汎な素養に加え、スペシャリストとして特定分野の能力開発を行うことにより、高等教育のプロフェッショナルを育成する取組です。

大学設置基準において、「大学は、当該大学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、その職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修（第 25 条の 3 に規定するものを除く。）の機会を設けることその他必要な取組を行うものとする。」という条文が加えられました。SPOD における SD は、この条文に書かれた研修の機会を大学間で連携して提供するものです。

その特徴として次の 3 点が挙げられます。

第一に、大学等間で協力して SD プログラムを開発・実施することで、多様な研修プログラムの機会を提供していることです。キャリア段階別研修、職務別能力開発研修など個々の職員のニーズに合った研修を提供しています。

第二に、大学等を越えた交流促進へ寄与することです。研修には SPOD 加盟校の職員であれば参加できるため、大学等での取組の工夫や課題を参加者間で共有することができます。

第三に、継続性が念頭に置かれていることです。SD コーディネーターの養成や講師養成研修などにより研修の担い手を育成することで、SPOD や各大学等の自立的な SD を継続的に実施できるように支援しています。

(2) SD プログラムの内容

SD プログラムは、1) キャリア段階別研修、2) 職務別能力開発研修、3) 次世代リーダー養成ゼミナール、4) SD コーディネーター及び SD 講師の育成、5) 各大学等の職員能力開発の 5 つの柱で構成されています。

1) キャリア段階別研修

新任職員・若手職員から管理職員までのキャリア段階別研修として「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ～レベルⅢ）」を実施しています。この研修では、職務遂行力（テクニカルスキル）、人間力（ヒューマンスキル）、管理・運営力（マネジメントスキル）の 3 領域の能力開発を目指しています。また、全職員の共通研修としてハラスメント研修等を実施しています。そのほかに、学長や役員も対象としたトップリーダー研修も年に 1 回程度開催しています。

着任早々の新任職員対象のプログラムは、四国 4 県から対象職員が参集し、大学職員・社会人としての基礎から学びます。その後、段階を追うごとに部下及び上司との関係性、管理職員としての視点、人材育成に資する能力を培うことなど、それぞれのキャリア段階に応じた研修プログラムを提供しています。プログラムの受講に加えて、参加者間の交流を通じた職員ネットワークの構築にも繋がっています。

- ・新任職員研修（レベルⅠ）
- ・若手職員研修（レベルⅠ）
- ・中堅職員研修（レベルⅡ）
- ・管理職員研修（レベルⅢ）
- ・共通研修
- ・トップリーダー研修

2) 職務別能力開発研修

職務別能力開発研修として以下の3領域の研修を実施しています。プログラム構築の過程で各職務に応じた目標設定や内容を厳選しており、実践に応じたプログラムの提供に努めています。研修レベルも新任職員（レベルⅠ）から管理職員（レベルⅢ）までの段階を追った構成になっています。

- ・学務系職員養成研修
- ・社会連携系職員養成研修
- ・国際連携系職員養成研修

3) 次世代リーダー養成ゼミナール

次代のトップリーダーとして大学等の経営を担うために必要な「理論」「技能」「態度」を段階的に学び・修得する140時間を超える総合研修プログラムを提供しています。本ゼミナールは、二年間で8回の日程（2泊3日の合宿形式）で実施しており、プログラムは、「講義」「プロジェクト」「SD実践」の3つの柱で構成されています。受講者は各大学等の学長から推薦を受けた少数精鋭の職員です。受講対象者は、SPOD加盟校の職員としていますが、定員に達していない場合は、SPOD加盟校外の職員を受け入れます。

4) SD コーディネーター及びSD講師の育成

SPODでは、各大学等のSDの自立的運営を目指しており、受講者が講師として必要な知識・技能・態度を身に付け、次期のSDプログラム講師を務めることができる研修プログラムを提供しています。

SD コーディネーターの養成プログラムや次世代リーダー養成ゼミナールを修了した者で、以下の認定基準を満たし、諸手続を経て審査に合格した者には、SPOD-SDC 資格が認定されます。SPOD-SDC に認定を受けた者は、所属大学等のSD推進に加えて、SPOD の新任職員研修やSPOD フォーラムなどで研修講師としても活躍しています。

- ・講師養成研修
- ・SD コーディネーターの養成

SPOD-SDC の資格認定基準

1. SPOD-SD（又は自大学におけるSD）講師を務めることができる。
2. 職員のキャリアプランニングをサポートすることができる。
3. 大学等における職員人材育成ビジョンの構築方法について説明することができる。
4. 大学等におけるSDプログラムの企画・立案ができる。
5. スタッフ・ポートフォリオの有益性を説明することができる。

5) 各大学等の職員能力開発支援

SPODでは、以下の4つの取組により各大学等の能力開発を支援しています。

スタッフ・ポートフォリオは、職員個人のキャリア形成のためのポートフォリオを作成し、個人のビジョン・ゴールを明確にします。その過程で所属組織のビジョンや組織内での自身の立ち位置を意識することで組織的な活性化をも支援します。

また、各大学等のSD支援として、SDに関わる相談に応じるコンサルティングや実際にSD研修を行う講師派遣などを行っています。年に1回開催するSPOD フォーラムでは、実践で必要とされるテーマを設定し、SPOD内外の講師による講義及び演習を交えたプログラムを提供しています。

- ・スタッフ・ポートフォリオ作成
- ・講師派遣
- ・SPOD フォーラム
- ・コンサルティング

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」

事業評価委員会委員名簿（案）

任期：平成29年4月1日～平成31年3月31日

福島 一政 追手門学院大学 副学長

佐藤 浩章 大阪大学 全学教育推進機構教育学習支援部 准教授

桂 良彦 大学コンソーシアム京都 事務局長

（計3名 敬称略）

※下線部が新規委員

【参考】

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業評価委員

（H27.4.1～H29.3.31，桂氏の任期はH28.4.1～H29.3.31）

田中 岳 東京工業大学教育革新センター 教授

福島 一政 追手門学院大学 副学長

桂 良彦※ 大学コンソーシアム京都 事務局長

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」（SPOD）事業評価委員会要項（抄）

（組織及び運営）

第3条 評価委員会は、大学等におけるFD／SD活動に造詣が深い者をもって組織する。ただし、委員はSPOD加盟校以外の機関に所属する者とする。

2 前項の委員は、ネットワークコア運営協議会（以下、「運営協議会」という。）の議を経て、会長が委嘱する。

各加盟校における F D / S D 活動の取組報告

平成 2 8 年度四国地区大学教職員能力開発ネットワーク活動報告書 (6 4 ページ～ 8 9 ページ) により報告

平成 2 8 年度四国地区大学教職員能力開発ネットワーク活動報告書 6 . 平成 2 8 年度各加盟校の取組報告 目次

徳島県

徳島大学（国）	6 4
鳴門教育大学（国）	6 5
四国大学・四国大学短期大学部（私）	6 6
徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部（私）	6 7
徳島工業短期大学（私）	6 8
阿南工業高等専門学校（国）	6 9

香川県

香川大学（国）	7 0
香川県立保健医療大学（公）	7 1
高松大学・高松短期大学（私）	7 2
香川短期大学（私）	7 3
香川高等専門学校（国）	7 4

愛媛県

愛媛大学（国）	7 5
愛媛県立医療技術大学（公）	7 6
聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部（私）	7 7
松山大学・松山短期大学（私）	7 9
松山東雲女子大学・松山東雲短期大学（私）	8 0
今治明德短期大学（私）	8 1
環太平洋大学短期大学部（私）	8 2
新居浜工業高等専門学校（国）	8 3
弓削商船高等専門学校（国）	8 4

高知県

高知大学（国）	8 5
高知県立大学・高知短期大学（公）	8 6
高知工科大学（公）	8 7
高知学園短期大学（私）	8 8
高知工業高等専門学校（国）	8 9